

レポートを書くにあたって

明治大学 商学部 山田知明

基本的な事だと思うのですが、下記の事が出来ていない学生が数多くみられます。

- コピペ厳禁。あなたが Web 上から見つけれられる情報は私も見つけれられます。
- 文字数は指定された範囲を厳守。
- 「ですます」調なのか、「である」調なのか統一をする。まもられていない場合、コピペの可能性大。
- 段落の一文字下げは基本。
- 適切な段落を心がける。極端な話、一行で改行する人すらいる。おそらくネットの悪影響だと思いますが、レポートは LINE ではありません。
- 同様に無意味な改行はしない。
- 図 (figure) と表 (table) は別物である。
- 拡張子を意識する。何形式で提出するのかをしっかりと把握しましょう。Google ドキュメントや Pages はタダで使えて便利ですが、Word 形式以外はファイルを開けない可能性があります。開けなかったら未提出扱いになる事を覚悟すること。また、仮に開くことが出来たとしても、文字化けやデザインが大きく崩れている可能性がある。
- 図表のフォントも意識する。Word と Excel の練習だと思って、しっかり見た目にも配慮すること。
- 引用文献の書き方、引用の仕方を確認。
- レポートの書き方をしっかり身につけたいのであれば、下記の本がお勧め。ただし、私が知らないだけで同種の良書は他にもあると思います。

References

- [1] 石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書、2006 年.
- [2] 黒木登志夫『知的文章とプレゼンテーション』中公新書、2011 年.
- [3] 小山透『科学技術系のライティング技法』慶應義塾大学出版会、2011 年.